

フィールド風

(現場)からの風

宮田守男

マスクが感染症対策に有効かは各論があるようだが、マスク不足の状況は一向に解消しない。「悲観的な思考」が蔓延して、「このま

ま日本が衰退するので「とのネガティブな考えが止まらない状況だ。動揺が収まるまで、国が管理して、全国民に行き渡る政策、例えば配給制の運用など早急な政策に期待したいものだ。

先の見えない状況の中、地域で明るい話題が無いかと探してみよう。出身は、信州、アルプスのどこか。性別は不明。年齢は不明。身長は、リンゴの木・半分ぐらい。体重は、りんご70個ぐらい。特技は、信州のお国自慢。趣味は、信州旅行。このプロフィールは誰の事か？ 答えは、長野

県のマスコットキャラクタ「アルクマ」。信州だけに出没する珍しいクマ。クマなのに旅好きで、いつも背中にはリュック。信州をクマなく歩きまくり、信州の魅力を世の中にクマなくひろめるのが

生きがい。昨年10月から「アルクマ」を車体にラッピングした「リゾートビューふるさと」ゾートビューふるさととが、長野駅・南小谷駅間で運行している。見ているだけで楽しくなる。少子高齢化社会で大系線の存続は

今後大きな課題になるに違いない。知恵を出しながら、乗らなくてはいけない物語を創る取り組みを期待したい。

新型コロナウイルス感染症拡大により、日常生活にもさまざまな影

かし、何もせずにじっと耐えている人もいれば、趣味の習い事や時間を過ごす人もいる。絵手紙・書道・木彫り・陶芸・手芸など、シニア大学のクラブ活動や地域の公民館活動などで学んだこれまでの積み重ねの成果

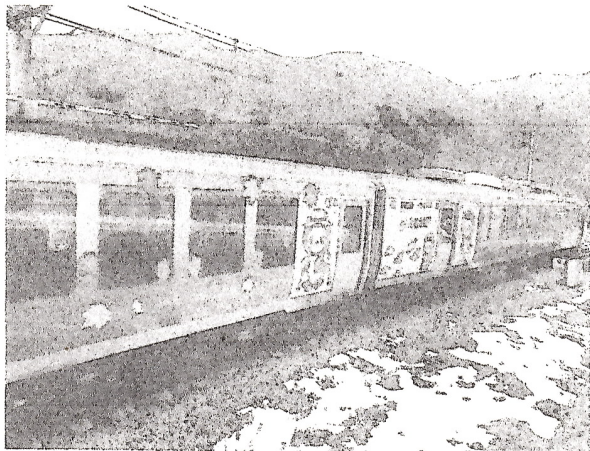
非常時に安心感と充実感を得るための学習が大切だと今回は、本当に考えさせられた。チベット仏教の最高指導者のダライ・ラマ法王は「人間、悪い種を蒔くと、どこかで悪いことがある。でも良

取り巻く状況が厳しいほど、夢を抱く事が大切だ

み重ねの成果だ。人生を豊かに過ごすばかりでなく、

き種を蒔いておけば、必ず良い事が起きます。その事を確信し、絶望のど真ん中にあっても、良き種を日々蒔いたら、幸福になるのです」と。この時期だ

からこそ、向き合わないければならない課題に、良き種を考えてほしいものだ。(信州地域社会フォーラム会員・白馬村森上)



週末に運転される「リゾートビューふるさと」走行中の写真撮影の難しさを知る